



# Corporate Vision 2009 Interim

2009年12月期中間決算報告

GMOインターネット株式会社

証券コード:9449

## CONTENTS

- 1 ▶ 株主の皆様へ
- 3 ▶ 2009年第2四半期までのIRニュースレビュー
- 5 ▶ セグメント情報
- 11 ▶ 財務データ
- 15 ▶ 会社情報
- 17 ▶ 株式情報/株主様向けインフォメーション

### (本冊子をご覧いただくにあたってのお知らせ)

- ①当期から四半期決算開示に伴い会計基準が変更されているため、第2四半期累計期間の業績を掲載しております。前中間期の数値につきましては、参考数値として掲載させていただいております。
- ②当期よりセグメント名称を、  
インターネット活用支援(ネットインフラ)事業  
▶ WEBインフラ・EC事業  
インターネット集客支援(ネットメディア)事業  
▶ インターネットメディア事業  
と変更しております。  
上記①②をご確認の上、本冊子をご覧ください。

## 不況下においても2桁以上の利益成長を実現。 拡大するEC市場を積極的に取り込んでいきます。

### セールスマックスの変化により、利益体質への転換が進んでいます。

当第2四半期連結累計期間の業績は、当初の予想を上回る好成果を収めることができました。前期において果たした収益回復の勢いを維持して、着実に成長軌道への復帰を遂げており、とりわけ利益面の向上が鮮明となっています。

売上高は189億円、営業利益は22億円となり、それぞれ前年同期より10%強の成長を遂げました。これは、セールスマックスの変化により、収益改善が進んだセキュリティや、ECカート、サーバー、決済、SEMメディアなどの高利益商材が拡大したことによるものです。この変化は、WEBインフラ・EC事業、インターネットメディア事業の両セグメントにおいて構造変化をもたらし、利益体質への転換を促進していると言えるでしょう。

また、財務コストの減少および金利収入の増加により経常利益は23億円、法人税の負担低下等により四半期純利益は12億円と、前年同期から大きく拡大しました。

一方、財務体質の強化も一段と進み、有利子負債は前期末の142億円から130億円に圧縮し、自己資本比率は18.3%となりました。インターネット金融事業撤退前の自己資本比率0.5%（2007年6月末）から、急速かつ大幅な改善を果たしたことがご理解いただけると思います。

### 長引く景気後退の中、EC市場のさらなる成長を取り込んでいきます。

今後、インターネット市場では、長引く景気後退による「節約消費」「巣籠もり消費」といった消費者動向の拡がりから、EC市場のさらなる成長が予想されています。当社グループは、このチャンスを積極的に取り込むべく、特にSEMメディアへの注力とEC支援事業の強化を加速してまいります。

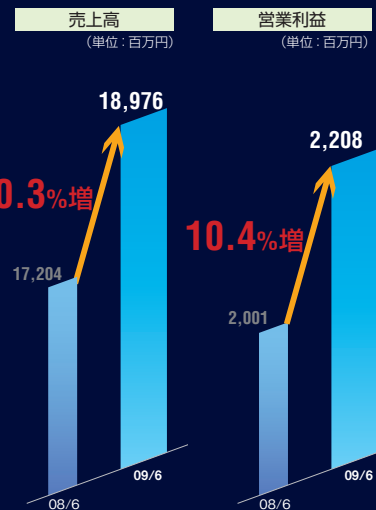
なお、当期の連結業績については、売上高393億円、営業利益46億円、経常利益45億円、当期純利益19億円を見込み、年間配当1株当たり6円の実施（当中間配当として実施した同2円を含む）を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き当社グループ事業へのご理解のもと、将来の発展に向けて長期的なお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長 兼 社長


清水 昌久




## 2009年第2四半期までのIRニュースレビュー

このページでは皆様に当社グループの活動をよりご理解いただきやすいよう、2009年第2四半期累計期間(1月1日から6月30日)のIRニュースを振り返りご紹介いたします。

### 2009

- 1月 ● **Group**  
 ネットリサーチ専門子会社である  GMOリサーチ株式会社が、海外営業の強化を目的にジャパンマーケットインテリジェンス株式会社を連結子会社化(2月に全株式を取得し完全子会社化)。

- 3月 ● 第18期定時株主総会を開催。

- 4月 ● **Group**  
 SEM事業の強化に向けて、SEOや検索連動型広告の運用を主軸とした  WEB・モバイル集客支援を強みとする株式会社イノベックス(5月18日よりGMO SEOテクノロジー株式会社に社名変更)へ資本参加。

- **Group**  
 セキュリティ事業を行うGMOグローバルサイン株式会社は、セイコーパレシジョン株式会社との電子署名とタイムスタンプでの協業を開始。

- 5月 ● 2009年度第1四半期決算を発表、決算説明会を開催。

- **Group**  
 GMOグローバルサイン株式会社は、日本セーフネット株式会社が提供する製品に対応した、サーバー版「PDF文書署名用証明書 for Adobe® CDS(自動署名対応)」を提供。

- 6月 ● **Group**  
 中間持株会社を連結子会社の新設分割により創設し、当社グループにおける広告代理事業の再編を決定。

### HOT NEWS !

#### 国内初のドメインレジストリ事業を開始「GMOドメインレジストリ」

ICANNIによる新gTLD導入(2010年開始予定)に合わせ、その申請・運用の代行とマーケティング支援を行うGMOドメインレジストリ株式会社を2009年7月28日に設立しました。当社はこれまでICANN認定レジストラとして、「お名前.com」によるSLDの管理を行っていましたが、GMOドメインレジストリ株式会社は、gTLDを管理するレジストリとして国内で初の存在となります。

<http://www.gmo-registry.com> 

#### SLD(セカンドレベルドメイン)

レジストリと契約を結んだレジストラによって管理される。  
 GMOインターネット株式会社によるサービスでは「お名前.com」。  
 (レジストラ)GMOインターネット株式会社

#### gTLD(ジェネリックトップレベルドメイン)

「.com」「.net」「.org」など、それぞれのレジストリによって管理される。  
 今回設立されたGMOドメインレジストリが運営する事業。  
 (レジストリ)GMOドメインレジストリ株式会社

公認 ↑

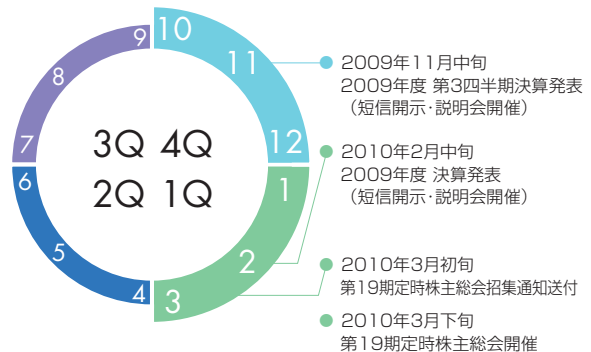
レジストリとの契約が必要

↑ 公認

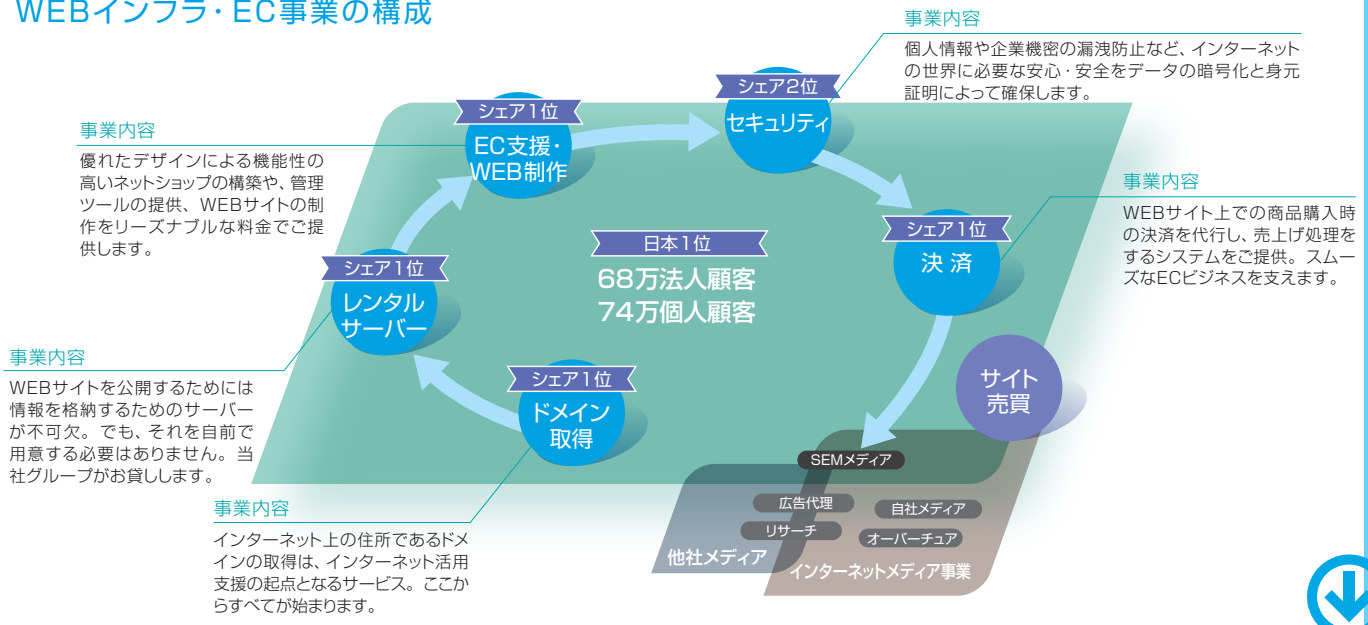
ICANN(IPアドレスやドメイン名などを世界的に調整・管理する非営利団体)

### 2009年10月～2010年3月までのIR活動カレンダー

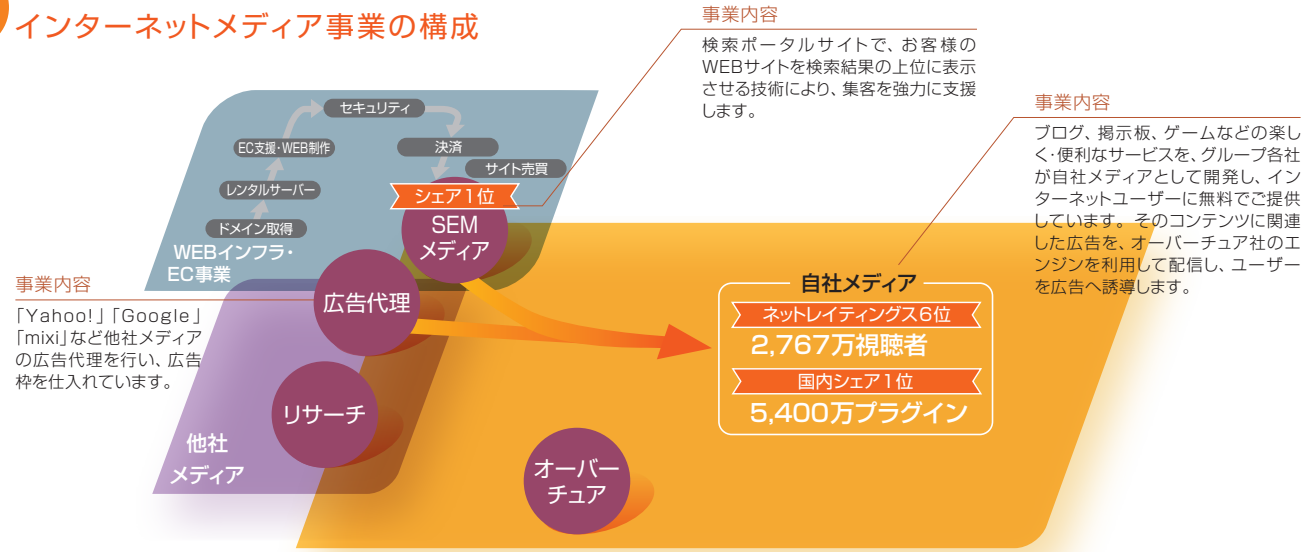
以下、今後の当社のIR活動のスケジュールとなります。今後とも、当社では迅速かつ公平な情報提供を心がけてまいりますので、ご参考の上、引き続きご支援いただけますようお願いいたします。



## WEBインフラ・EC事業の構成



## インターネットメディア事業の構成



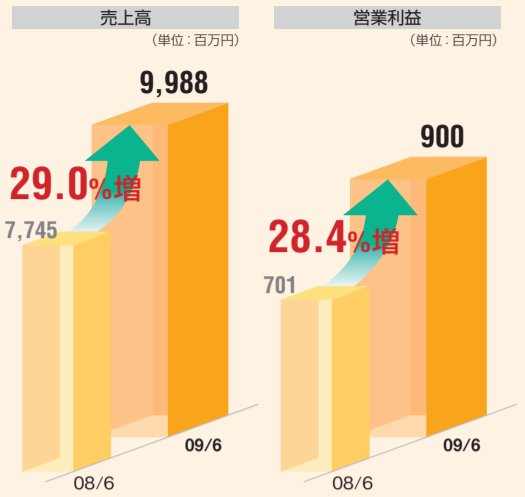
## インターネットメディア事業の概況

### 求人広告からの撤退とSEMメディアへの注力により、大きく成長。

GMOととくとくIDの取得者数合計が870万件、当社グループが展開するメディアの月間視聴者数が2,767万人と、当社グループのメディア資産はさらに拡大し続けています。

そうした中、不調が続いていた求人広告事業から2009年2月をもって撤退し、販売人員のシフト等によってJWord、SEOなどのSEMメディアに注力した結果、利益率の高いこれらの商材が収益面に大きく寄与しました。また、2009年4月にはSEM事業のさらなる成長に向けて、SEOや検索連動型広告による集客支援を強みとする株式会社イノベックス(現GMO SEOテクノロジー株式会社)に資本参加しました。

こうした取り組みにより、当第2四半期連結累計期間におけるインターネットメディア事業合計の売上高は9,988百万円(前年同期比29.0%増)となり、売上高割合においてWEBインフラ・EC事業を逆転し、営業利益も900百万円(同28.4%増)と大きく成長しました。

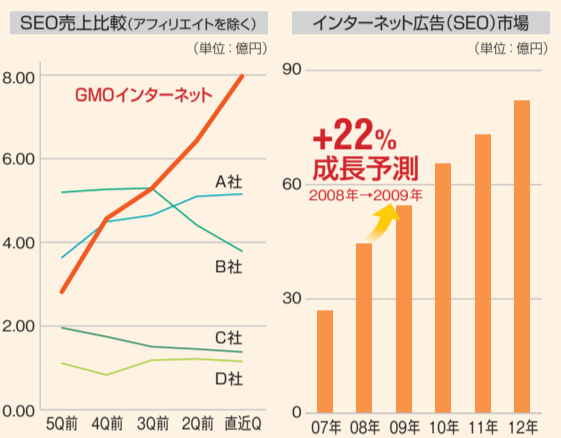


## インターネットメディア事業の成長に向けた取り組み

### SEMメディアの重点展開が奏功。市場の伸びを捉え、さらなる発展へ。

インターネット広告市場では、費用対効果に優れたSEM<sup>※1</sup>メディア関連サービスが大きく伸びています。当社グループでは、2009年2月に撤退した求人広告事業の人員を、SEO<sup>※2</sup>などのSEMメディア販売にシフトさせた重点展開の奏功に加えて、クロスセルなど独自の営業手法により、同業他社が横ばいしないしは下降トレンドとなる中で、SEO売上No.1を達成しつつ、なお上向きの成長ベクトルを維持しています。

また、前期後半より受注を拡大したSEMメディアによる年間契約の更新が、この下半期から期待できるなど、当事業は本格的な成長への舵を切ったといえます。広告業界では主要マスメディアへの出稿が減少する一方、SEMメディアの広告効果に対する注目はますます高まりつつあり、当社グループはこの市場拡大を捉えて、さらなる発展を目指します。



用語  
解説

※1 SEM(Search Engine Marketing)  
検索エンジンの検索結果から自社サイトへ、インターネットのユーザー誘導を図るマーケティング活動。

※2 SEO(Search Engine Optimization)  
コンテンツ制作を工夫し、自社サイトを検索結果順位のより上位に表示させるSEMの手法、その技術。

出典:アウンコンサルティング リリース  
「第4回(2009年)国内SEO市場規模予測」(2009年1月7日)

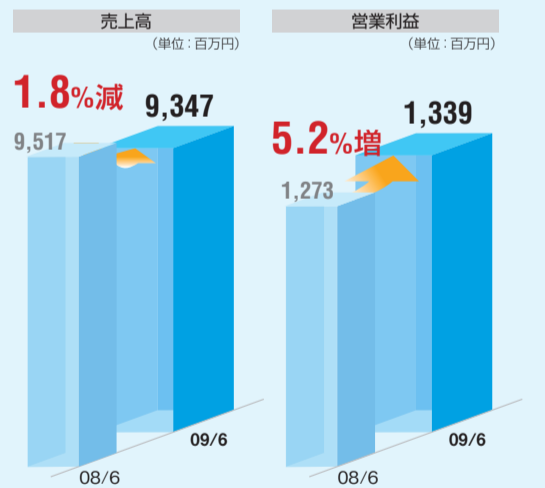
## WEBインフラ・EC事業の概況

### セキュリティ黒字化、サーバー・決済等の高利益商材が貢献し、利益率向上。

法人向け5大商材の会員数が合計68万件、法人・個人の有効ドメイン登録数合計が94万件に達するなど、当第2四半期連結累計期間も引き続き順調な伸びを示しました。

ドメイン取得事業では、積極的な顧客獲得に向けた低価格戦略のため、売上高が前年同期比で微減となり、EC支援・WEB制作事業では、ECパッケージ販売の低価格商材へのシフトとWEB制作部門の人員をインターネットメディア、検索関連事業へシフトさせ、戦略的に縮小させたことにより同32.6%減の売上高にとどまりましたが、レンタルサーバー、セキュリティ、決済の各事業は、いずれも堅調に推移しました。特にセキュリティ事業は黒字化を達成し、決済事業は四半期ベースで売上高・経常利益ともに過去最高となるなど、連結業績に大きく寄与しています。

これらの成果により、当第2四半期連結累計期間におけるWEBインフラ・EC事業合計の売上高は9,347百万円(前年同期比1.8%減)、営業利益は1,339百万円(同5.2%増)となりました。



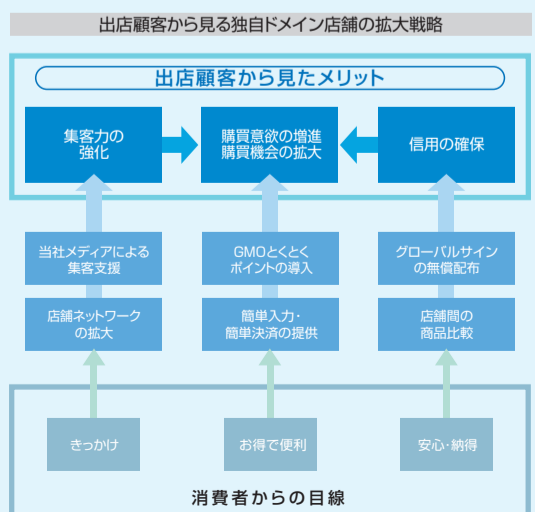
## WEBインフラ・EC事業の成長に向けた取り組み

### 独自ドメイン店舗のネットワーク拡大に向けて、メリットの拡充を推進。

EC支援事業は現在、カート契約件数が1日当たり約40店のペースで増加しており、「ColorMeShop」と「MakeShop」を合わせて34,000店を超え、業界首位を維持しています。

独自ドメイン店舗においては、グローバルポイントである「GMOととくとくポイント」の導入とともに、買い物客に利便性をもたらす「簡単入力」「簡単決済」の提供、安心感を与える「グローバルサイン(企業実在証明)」の無償配布など、メリットの拡充を進めています。

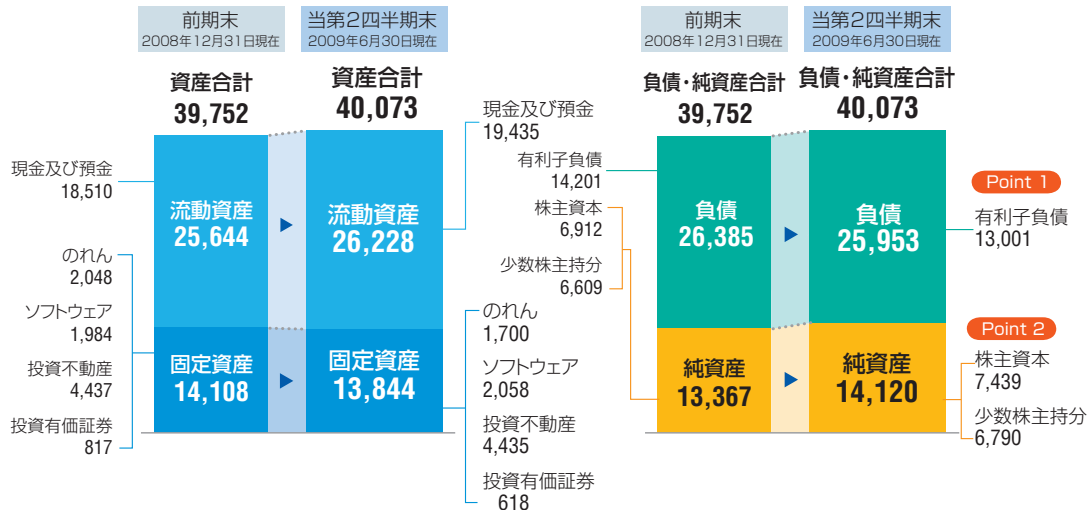
2009年4月には株式会社paperboy&co.のショッピングモール「カラメル」でも「GMOととくとくポイント」の導入・ID共通化を実施し、同ポイントを利用する「とくとくP会員」は、当第2四半期までに870万人に達しました。下半期からは、当社のメディアパワーを活かした集客支援を強化し、利便性を高め、店舗様の売上を最大化するために、引き続き各施策を継続してまいります。



財務データ①

当第2四半期末の連結貸借対照表の概要

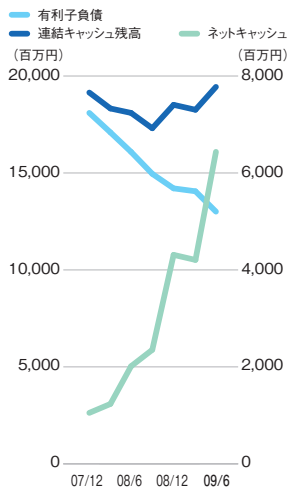
(単位：百万円)



Point 1

有利子負債を減少、財務安定化に注力

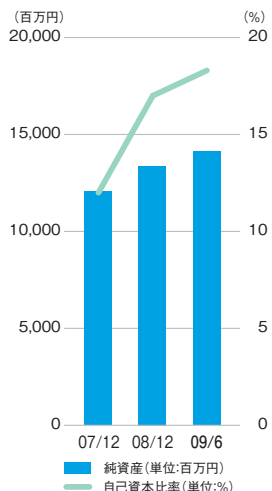
業績が好調に推移した結果、連結キャッシュ残高は924百万円増加し、長期借入金699百万円の返済などにより、ネットキャッシュは2,124百万円増加するなど、引き続き財務安定化に注力いたしました。



Point 2

自己資本比率18.3%に

業績が好調に推移した結果、四半期純利益を1,225百万円計上いたしました。配当金の支払による減少があったものの、前期末に比べ752百万円増加し、順調に自己資本比率の改善を果たしております。



GMO IR

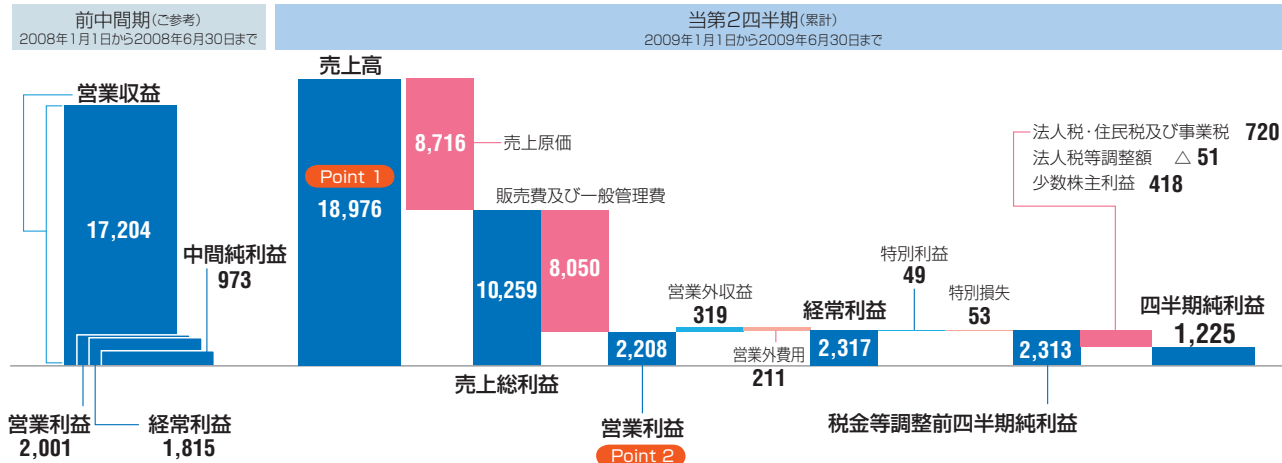
<http://ir.gmo.jp/>

本冊子の財務諸表の他、さらに詳しいIR資料をご覧になりたい方は、当社IRサイトでご覧いただけます。

## 財務データ②

## 当第2四半期累計期間の連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



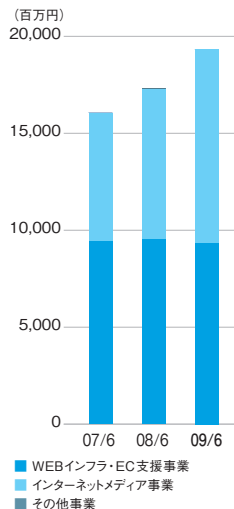
## Point 1

## SEM、セキュリティ、決済が好調で売上高が堅調に推移

WEBインフラ・EC事業につきましては、セキュリティ事業および決済事業が好調に推移し、売上を牽引いたしました。しかしながら、WEB制作事業のインターネットメディア事業への戦略的シフトなどにより本事業セグメントにおける売上高は微減(前年同期比1.8%の減少)となりました。

インターネットメディア事業につきましては、引き続き好調な伸びを見せているSEM事業を中心に売上を順調に伸ばしております。また、2008年5月に連結子会社となった広告代理事業を行う株式会社NIKKOの売上高が前中間連結会計期間に含まれていなかったこともあり、前年同期比で29.0%の増加となっております。

※2007年6月期はインターネット金融事業による収益がありました。2007年8月の同事業撤退に伴い、右記グラフでは、同事業による収益を省略して表示しております。



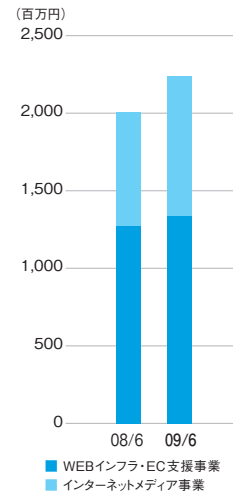
## Point 2

## 両セグメントともに営業利益が増益

WEBインフラ・EC事業におきましては、レンタルサーバー事業、セキュリティ事業および決済事業が牽引役となり、特にセキュリティ事業については、2009年度より黒字化を果たすなど、連結業績に寄与いたしました。

インターネットメディア事業におきましては、不調な求人広告事業からの撤退による減益があったものの、好調なSEMメディアが牽引役となり、順調に成長いたしました。

※2007年6月期は10,495百万円の損失。



## 会社情報 (2009年6月30日現在)

### 会社概要

■ 商号	GMOインターネット株式会社
■ 設立年月日	1991年5月24日
■ 本社所在地	東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー
■ 資本金	12億7,683万円
■ 従業員数	377名
■ グループ従業員数	1,636名

### 役員

代表取締役会長兼社長	熊谷正寿	取締役	菅谷俊彦
専務取締役	安田昌史	取締役	有澤克己
専務取締役	西山裕之	取締役	新井輝洋
専務取締役	宮崎和彦	取締役	高橋信太郎
常務取締役	伊藤正	取締役	山下浩史
取締役	青山満	常勤監査役	武藤昌弘
取締役	松原賢一郎	監査役	木下学
取締役	橘弘一	監査役	小倉啓吾

### 上場連結子会社

- **GMOペイメントゲートウェイ株式会社**  
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部  
証券コード 3769
- **GMOホスティング&セキュリティ株式会社** → P.16  
上場証券取引所 東京証券取引所マザーズ  
証券コード 3788
- **GMOアドパートナーズ株式会社**  
上場証券取引所 大阪証券取引所ヘラクレス  
証券コード 4784
- **株式会社paperboy&co.**  
上場証券取引所 ジャスダック証券取引所  
証券コード 3633

## グループ会社の横顔

2

### GMOホスティング&セキュリティ株式会社

常に最高レベルの安心・安全をインターネットの世界に提供。



国内最大規模のホスティングサービスと、世界的なSSLサーバ証明書の発行実績を持つセキュリティサービス。GMOホスティング&セキュリティ株式会社は、この2つの事業を柱に、インターネットを安心・安全に使うためのインフラを世界中の事業者様に提供し続けています。優れたITサービスによるビジネス支援。そして、その先にいるお客様に対する安心の提供。この双方によって実現する「インターネットの両端を笑顔で結ぶ」がGMOホスティング&セキュリティ株式会社のコーポレートキャッチです。

最近の事業の状況としては、ホスティングサービス事業は、サーバーの調達からシステムの構築、運用管理や障害発生時の対応まで、システムの管理を請け負う「マネージドホスティングサービス」を成長の柱に位置付け、積極的に営業展開を行っており、さらなる収益力の向上を目指しています。

一方で、セキュリティサービス事業では、オーダー画面上でクリックしてから数分でSSLサーバ証明書のインストールが完了する「ワンクリックSSL」などの革新的なサービスを投入。高い利便性を武器に、電子認証サービスの販売網を全世界へ拡大しています。

これからもGMOホスティング&セキュリティ株式会社は、グローバルな舞台で新しい価値を作り、インターネット社会の未来を創造していくことに挑戦してまいります。



GMO-HS  
http://www.gmo-hs.com/

検索

## GMOインターネットのWEBサイトをご覧ください。

当社のWEBサイトでは、個人株主・投資家の皆様への情報をはじめとして、サービス情報や企業情報などについて常に最新の情報をご提供しております。

また、当社WEBサイトとともに右記の当社代表取締役会長 兼 社長 熊谷正寿の生の声をお届けするブログ、「クマガイコム」も是非ご覧ください。



GMOインターネット

<http://www.gmo.jp/>

検索



クマガイコム

<http://www.kumagai.com/>

検索

お問い合わせ先

**GMOインターネット株式会社**

電話:03-3461-2222 e-mail:ir@gmo.jp